



美しい 県土づくりNEWS

2024年

1月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第233号
令和6年1月31日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 岩谷橋と橋詰広場の完成記念イベントを開催！
- 5 第18回土木合同セミナー「流域治水を考える」を開催しました！
- 7 京都工学院高校の生徒に「岩手県の震災復興」の取組等について紹介しました！
- 8 令和6年能登半島地震からの生活再建に向けた支援を行っています
- 10 優良県営建設工事等の表彰式を行いました
- 13 令和5年度岩手県まちづくりセミナー「色彩の観点からの景観まちづくり」を開催しました
- 15 岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施状況・事例等を紹介します！

三陸復興

あらせかみたおもて

都市計画道路荒瀬上田面線

岩谷橋と橋詰広場の完成記念イベントを開催！



「四代目岩谷橋」
記念撮影



橋詰広場のテープカット



橋名板のお披露目

令和5年12月25日（月）、岩谷橋の車道部と橋詰広場が完成したことを節目として完成記念イベントを開催しました。

あらせかみたおもて
 いわや
**都市計画道路荒瀬上田面線
 岩谷橋と橋詰広場の完成記念イベントを開催！**

県北広域振興局土木部二戸土木センター

令和5年12月25日(月)、都市計画道路荒瀬上田面線岩谷橋の車道部が完成し、右折信号機付きの**右折レーン**が運用開始されたことや、**橋詰広場**が完成したことを節目として、完成記念イベントを開催しました。

イベントの様子

当日は、地域の皆様を含め30名以上の方が参集し、県北広域振興局長、二戸市長、県議会議員、市議会議員、施工業者による**テープカット**、県と二戸市が協力して整備した**橋詰広場**、創立150周年を迎えた福岡小学校の児童の皆様には揮ごういただいた**橋名板**をお披露目しました。



坊良県北広域振興局長あいさつ



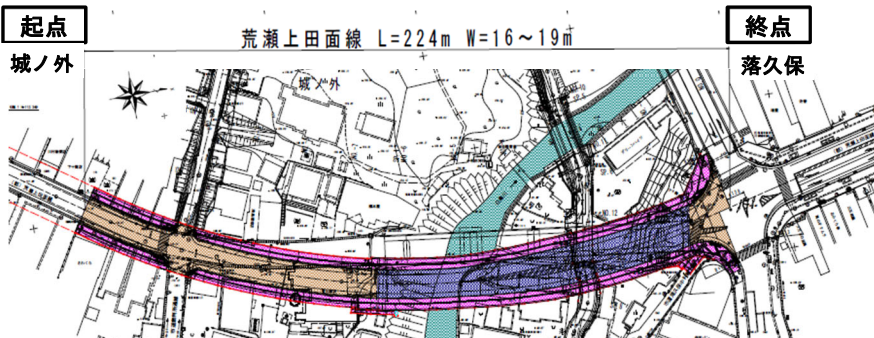
藤原二戸市長祝辞



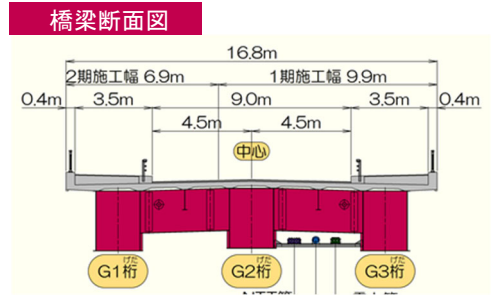
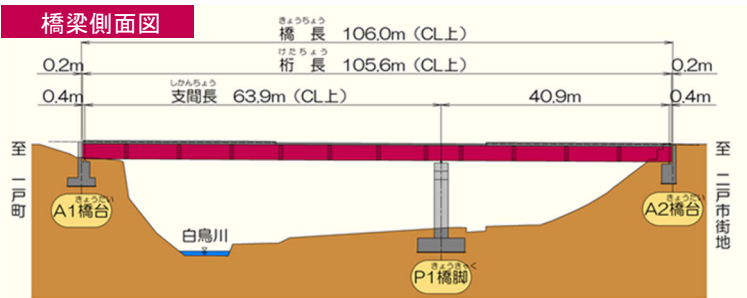
五日市県議会議員祝辞

事業概要

岩谷橋と接続する落久保交差点は、二戸市の東西と南北の交通軸が交差する**交通量の多い交差点**ですが、**右折レーンがなく、歩道も狭小**であるため、**岩谷橋の架替及び前後道路の線形改良、拡幅、交差点改良**により、安全で安心な通行空間の確保と都市内道路の機能向上を図るため、**平成22年度から事業に着手**しました。



事業主体	岩手県
事業費	32億円
事業延長	224m
幅員	16.0m~19.0m
事業期間	平成22年度~令和6年度
道路構造規格	第4種第2級
設計速度	40km/h
主要構造物	岩谷橋 L=106.0m
その他	橋詰広場



※ 交差点部は幅員 19.0m (右折レーンの新設)

施工状況

橋の架け替えに当たって、車両や歩行者の通行を確保する必要がありますが、現地は迂回のための仮橋設置が困難な条件であるため、部分的な仮橋により通行を確保するなど、片側ずつ切り替えながら施工を進める必要があることから、難易度が高く、施工に時間がかかる工事となりました。

① 仮橋の設置 (2018.5)



② 橋桁の設置【1期施工】 (2020.9)



③ 旧橋と仮橋の撤去、橋台・橋脚の設置 (2022.9)



④ 完成形 (施工中)【2期施工】 (2023.3)



景観への配慮

計画策定の段階から「景観懇談会」や「詳細デザイン検討委員会」を始め、地域の皆様からご意見をいただき、「自然や歴史を感じながら歩いて渡る橋」をコンセプトとして、橋桁を二戸市章と同じ「古代朱(こだいしゅ)」色に塗装したほか、景観に配慮した高欄、照明灯、親柱としています。



橋詰広場

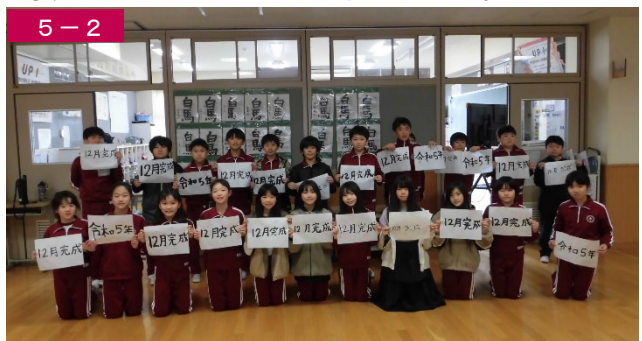
岩谷橋は、岩谷観音や奥州街道の上を通過し、橋上は折爪岳や馬淵川の眺望地点であることから、県と二戸市が協力し、岩谷橋の袂に、岩谷橋や周辺地域の歴史や観光の魅力を発信する橋詰広場を整備しました。

広場には、旧橋の親柱や二戸市ゆかりの作家による歌碑、岩谷橋の歴史や周辺の観光施設などを紹介する案内板などを設置しています。



橋名板の揮ごう

岩谷橋の高欄に取り付けられる4枚の「橋名板」は、創立150周年を迎えた福岡小学校の児童（5・6年生）に揮ごうしていただきました。



おわりに

地域の皆様により一層愛される岩谷橋として、事業着手から約14年の歳月をかけ整備を進めてきました。

本工区の整備に当たり、貴重な土地を提供いただいた地権者の皆様、二戸市や福岡小学校をはじめ地元関係機関・団体の皆様、施工業者の皆様に改めて感謝を申し上げます。

～旧岩谷橋の歴史、景観検討の様子や石積みの調査～

初代岩谷橋（明治21年）から3代目（令和3年10月）までの歴史、景観検討の様子や旧岩谷橋の石積みの調査については、美しい県土づくりニュース令和4年5月号に掲載しています。

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kendoseibi/news/1056043/1056775.html>

第 18 回土木合同セミナー

「流域治水を考える」を開催しました！

盛岡広域振興局土木部（土木合同セミナー実行委員会事務局）

令和5年12月19日（火）、「エスポワールいわて」において、第18回土木合同セミナーを開催しました。

本セミナーは、建設会社や測量設計会社だけでなく、建設業に関わる様々な専門職種が互いの専門性を理解し、見識を広げることを目的として開催しているものです。

当日は、3年ぶりの開催にもかかわらず、行政、建設業、測量設計業等の団体から 160名の参加をいただきました。

第1部 映画上映

第1部では、北上川の治水の歴史に関わる映画を上映しました。

映画「北上川 ～北上川流域の風土とカスリン・アイオン台風～」

昭和22・23年と連続して日本を襲い、各地に甚大な被害をもたらした、カスリン・アイオン台風に関する映画を通じて、北上川流域の治水の歴史を学びました。



上映の様子

第2部 講演

(1) 北上川上流におけるダム再生の取組



国土交通省東北地方整備局
北上川ダム統合管理事務所
小田桐 淳司 所長

近年の水災害に対するダムの治水効果や、「北上川上流ダム再生事業」の全体概要、四十四田ダムの嵩上げ工事の内容及び治水効果等を説明いただきました。

写真提供：(株)日刊岩手建設工業新聞社

(2)

小本川水系の流域治水の取組について

岩手県県土整備部河川課
馬場 聡 総括課長

小本川の流域治水の取組として、河道の屈曲部を利用した流木捕捉工等のハード整備や、出前講座、総合防災訓練等のソフト施策を説明しました。



写真提供：(株)日刊岩手建設工業新聞社

【主催】土木合同セミナー実行委員会

【構成団体】盛岡広域振興局土木部、公益財団法人岩手県土木技術振興協会、
一般社団法人岩手県建設業協会盛岡支部、一般社団法人岩手県測量設計業協会、
一般社団法人岩手県土木技術センター、株式会社日刊岩手建設工業新聞社

京都市立京都工学院高校の生徒に「岩手県の震災復興」の取組等を紹介しました！

建築住宅課・盛岡広域振興局土木部

京都工学院高校は、令和5年度より文部科学省による「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」事業の指定校として採択され、先進的な教育等に取り組んでおり、今般、生徒が主体的に探究する「自主プロジェクトゼミ」として、防災をテーマに活動しているチームが、本県での被災地の訪問等による課題解決型学習を行いました。

令和5年11月24日（金）には、京都工学院高校で「岩手県の震災復興～住宅事業を中心に」をテーマに県の取組を紹介しました。

また、令和5年12月21日（木）には、生徒の皆さんが来県し、県営南青山アパートで、県から「岩手県の災害公営住宅整備と県営南青山アパート整備概要」、もりおか復興支援センターから「広域避難とコミュニティ形成」を説明しました。

生徒からは、「仮設住宅の寒さ対策は？」や「コミュニティ形成で意識したことは？」などの積極的な質問が多くありました。また、「実際に東日本大震災からの復興事業に携わっていた職員から話を聞くことが出来て参考になった」などの感想をいただきました。

県としても、今回の学習を通して、これからの未来を担う生徒の皆様に、被災地である本県の住宅復興の取組についての理解や、これまで行ってきた施策や事業への興味、関心を深めていただき、大変貴重な機会となりました。



【京都工学院高校 HP でも学習の様子が掲載されました】

【概要】

■11月24日（金）

場所：京都工学院高校（京都市） 参加者：生徒・教員 計19名

内容：「岩手県の震災復興～住宅事業を中心に」

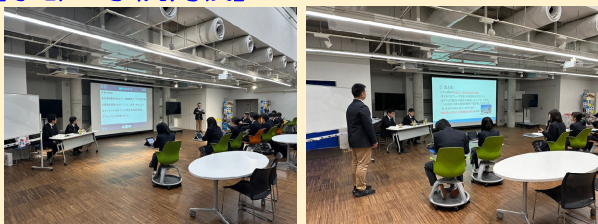
- ①東日本大震災津波の被災状況、②初動対応～応急仮設住宅、③災害公営住宅の整備、④自力再建支援

■12月21日（木）

場所：県営南青山アパート（盛岡市） 参加者：生徒・教員 計14名

内容：①岩手県の災害公営住宅整備、②県営南青山アパートの整備概要、③広域避難とコミュニティ形成、④現地見学

【京都工学院高校】



【県営南青山アパート】



令和6年能登半島地震からの 生活再建に向けた支援を行っています

建築住宅課、県土整備企画室

本年1月1日（月）に発生した能登半島地震で犠牲になられた方々に心からお悔やみ申し上げます。また、被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げますとともに、日夜、復旧に向けて尽力されている皆様に深く敬意を表します。

岩手県では、令和6年1月5日（金）、「令和6年能登半島地震に係る岩手県応援本部」を設置し、DMATや職員の派遣等による支援を行っています。

県土整備部では、応急仮設住宅を早急に整備し、避難者の仮の住まいを確保するため、東日本大震災津波で同業務に携わった建築職員を現地に派遣し、支援活動を行いました。また、住宅が被災し、継続的な居住が困難となった方に対し、本県の県営住宅の申し込みを受け付けています。

令和6年能登半島地震における最新の本県の対応状況については、「いわて防災情報ポータル」で公開していますので、こちらをご覧ください。

https://iwate-bousai.my.salesforce-sites.com/PUB_VF_TopA

能登半島地震について

令和6年1月1日（月）16時10分頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生し、多くの建物が倒壊したほか、津波被害が発生しました。

地震の状況

	能登半島地震 (R6.1.1)	参考：東北地方太平洋沖地震 (H23.3.11)
震源地	石川県能登地方	三陸沖 (牡鹿半島の東南東約130km)
マグニチュード(Mw)	7.5	9.0
震源の深さ	約16km(暫定値)	約24km
最大震度	7(石川県志賀町)	7(宮城県栗原市)

応急仮設住宅の整備支援

被災地での応急仮設住宅の建設を支援するため、岩手県から石川県に建築職員3名を派遣し、1月15日（月）から2週間、業務支援を行いました。

■ 岩手県庁での職員派遣出発式（12日（金））



写真提供：(株)日刊岩手建設工業新聞社

派遣される職員を代表して建築住宅課 廣瀬主査が、「一日でも早く復興の槌音が、石川県から響いてくるように任務を果たす」と決意を述べました。

加藤部長から、「被害に遭われた方が一日も早く安心して暮らせるよう尽力してください」と激励がありました。

■ 派遣体制

- ・派遣人数：県土整備部建築住宅課 1名
盛岡広域振興局土木部 1名
県南広域振興局土木部北上土木センター 1名
- ・派遣期間：1月15日（月）から28日（日）まで（2週間）
- ・活動地域：石川県内の各被災市町村

■ 現地の状況

派遣された3名は、東日本大震災津波で応急仮設住宅の建設等に携わった経験を活かし、応急仮設住宅建設の業務フローの作成、整備基準の調整といった初動体制づくりをはじめ、仮設住宅の図面チェックや現地での仮設住宅用地への適合調査、市町村・関係団体等との打ち合わせ、着工時の縄張検査等の業務支援を行いました。

石川県では、能登半島地震への被災者に提供する応急仮設住宅を1月末までに1,000戸着工の目標を上回る1,248戸を着工しました。引き続き現地では、他県等から派遣された多くの職員が、仮設住宅の整備・完成に向け、全力で取り組んでいます。

岩手県では、今後も全国知事会や県内市町村と連携しながら、被災地域を支援していきます。



石川県庁舎内での業務の様子

積雪地における配置等についてのアドバイスや、玄関を向かい合わせにするなどコミュニティ形成に配慮した東日本大震災津波での仮設住宅^{*}の建設事例の情報提供等も行いました。



※ 釜石市平田多目的グラウンド仮設住宅
([岩手県における被災者の住宅確保のための5か月間の取組について \(pref.iwate.jp\)](http://pref.iwate.jp/))



現地での調査・検査の状況



ムービングハウス形式の応急仮設住宅の建設状況

優良県営建設工事等の表彰式を行いました

建設技術振興課

令和5年12月19日（火）、「岩手教育会館多目的ホール」において、令和5年度優良県営建設工事表彰式・優良下請負企業表彰、建設業新分野進出等表彰式、優良建設関連業務表彰式を行いました。

優良県営建設工事表彰、優良建設関連業務表彰は、建設業の健全な発展とその技術の向上に資することを目的とし、建設業新分野進出等表彰は、建設企業の経営体質の強化への取組意欲を喚起し、建設業の構造改革の推進を図ることを目的として実施しています。

表彰式には、受賞企業の代表者のほか、工事発注公所等の担当者も出席し、受賞企業の優れた業績をたたえました。

表彰状授与（優良県営建設工事表彰）



記念撮影（優良県営建設工事表彰）



記念撮影（優良下請負企業表彰）



記念撮影（建設業新分野進出等表彰）



【各表彰の要件・件数】

■優良県営建設工事表彰（昭和57年度創設：42回目）・優良下請負企業表彰（平成21年度創設：15回目）

令和4年度に完成し、請負額1,000万円以上で、かつ工事成績評点85点以上の県営建設工事を対象とし、「総合的に工事成績が良好で他の模範となる県営建設工事」と認められた **21工事19者（うち、JV1）** を表彰しました。

また、優良県営建設工事表彰の対象工事を施工し、今年度の受賞企業として内定した元請負企業から推薦のあった下請負企業で、その功績が特に顕著と認められた **11工事13者** を表彰しました。

■建設業新分野進出等表彰（平成17年度創設：19回目）

平成28年度以降に開始され、建設業許可業者・その許可業者の子会社及び関連会社・グループによる事業で「農林水産」、「環境リサイクル」、「保健福祉生活」、「建設」、「サービス関連」の5つのいずれかの分野に該当するものを対象とし、事業の将来性や社会貢献性などが認められた **2件2者** を表彰しました。

■優良建設関連業務表彰（平成27年度創設：9回目）

令和4年度に完了した建設関連業務のうち、委託業務成績評定要領に基づき成績評定を行った業務（県内に本店又は営業所を有する受注者に限る。）で、他の模範となる優良な業務と認められた **23業務20者** を表彰しました。

【令和5年度 優良県営建設工事表彰・優良下請負企業表彰 受賞工事・企業一覧】

部門	表彰工事	受賞企業	優良下請負企業
土木	農村地域防災減災事業後藤・横川目地区第5号工事	旭ポーリング(株)	—
	一般国道 395 号猿越橋橋梁補修（床版取替）工事	(株)アルバライフ	—
	農地中間管理機構関連農地整備事業曲田地区第2号工事	(株)近江建設	横田建設(株)
	主要地方道岩泉平井賀普代線明戸地区ほか道路災害復旧（1 災 90 号・91 号）工事	熊谷建設(株)	—
	一般国道 343 号広桶大橋耐震補強工事	(株)佐賀組	瑛加重工(株)
	一般国道 106 号中の橋橋梁補修工事	(株)タカヤ	(有)ビー・ロック
	一般県道八幡平公園線北ノ又山地区道路災害復旧(元年災 1 号)工事	(株)タカヤ	—
	島の越漁港海岸災害復旧(23 災県第 617 号防潮堤その3) 工事	(株)タカヤ	大崎建設(株)
	基幹水利施設ストックマネジメント事業岩手 6 期地区小鹿妻堰第 3 号工事	百万石建設(株)	(株)doors
	経営体育成基盤整備事業若柳中部地区第 16 号工事	(株)横沢工業所	(有)村崎野建設 (株)双葉技建
舗装	花巻空港滑走路舗装改良（3工区）工事	(株)伊藤組	岩館電気(株)
	一般国道 396 号早池峰大橋橋梁補修工事	(株)たかしん興業	(株)大久保建設
	一般県道二戸軽米線長嶺地区舗装補修工事	(株)中館建設	—
	一般国道 395 号大野地区ほか道路舗装補修工事	宮城建設(株)	—
法面処理	主要地方道水沢米里線館山地区道路災害防除（ブロック 7・その3）工事	進栄建設(株)	(株)双葉技建
	坂本沢地区復旧治山工事	(株)たかしん興業	—
	主要地方道岩泉平井賀普代線明神地区落石対策（A145、A140）工事	畑田建設工業(株)	—
建築	みたけの杜新築（建築）工事	中亀建設(株)	(株)秋山工務店 (株)小松組 (有)岩渕建装
通信設備	一般国道 283 号仙人トンネル非常用通信施設更新工事	北日本通信(株)	—
電気設備	一般国道 340 号赤羽根トンネル照明設備更新工事	新興電気(株)	—
管設備	岩手県立釜石祥雲支援学校校舎新築ほか（機械設備）工事	(株)東北水道工事・ (株)伊藤住宅設備特 定共同企業体	工又ケー紫波(株)

【令和5年度 建設業新分野進出等表彰 受賞事業・企業一覧】

表彰区分	分野	受賞企業	事業内容
最優秀賞	農林水産	松村建設(株)	桃畑学園サーモン養殖飼育事業
優秀賞	農林水産	佐藤建設(株)	自然に囲まれた地元環境を有効に活用・保全するための素材生産伐採事業

【令和5年度 優良建設関連業務表彰 受賞業務・企業一覧】

部門	表彰業務名	受賞企業
測量	一般国道 397 号小谷木橋地区ほか道路台帳整備(調査・測量)業務委託	(株)ジャスト・コンサルタント
	一般県道丸森権現堂線下船渡地区道路台帳整備(調査・測量)業務委託	(株)スズマ測量設計
	一般国道 340 号葉山恵蘇地区道路台帳整備(調査・測量)業務委託	(株)総合土木コンサルタンツ
	築川ダム流量観測業務委託	東日本測量設計(株)
建築	県勤労身体障がい者体育館屋上防水改修工事設計業務	(有)環境計画工房
	県営内匠田アパート(2号棟)リフレッシュ工事設計業務委託	(株)高橋設計
	岩手県立釜石祥雲支援学校校舎新築ほか工事監理業務	(株)渡辺設計事務所
土木	一級河川磯田川筋油島地区橋梁詳細設計(沼畑橋)業務委託	(株)一測設計
	主要地方道上米内湯沢線浅岸地区歩道測量設計業務委託	(株)エヌティーコンサルタント
	綱取ダム警報局耐水化対策設計ほか業務委託	(株)北日本朝日航洋
	二級河川小本川筋中島地区ほか河川激甚災害対策特別緊急ほか環境調査業務委託	(株)建設環境研究所
	一般県道雫石東八幡平線谷地地区道路計画調査業務委託	(株)昭和土木設計
	主要地方道一関北上線鶴城～内堀地区道路計画調査業務委託	(株)土木技研
	主要地方道盛岡横手線黒沢川橋地質調査及び橋梁設計業務委託	(株)土木技研
	主要地方道花巻大曲線豊沢トンネル坑門工測量調査設計業務委託	日鉄鉦コンサルタント(株)
	一般国道 107 号大石地区ほか法面調査業務委託	日本工営(株)
	一級河川岩崎川事業評価資料作成業務委託	(株)防災技術コンサルタント
主要地方道一関大東線柴宿地区法面補修測量設計業務委託	(株)吉田測量設計	
地質	一般国道 456 号四日町橋地質調査業務委託	(株)土木技研
補償	主要地方道一関北上線長島地区用地測量業務委託	(株)総合土木コンサルタンツ
	一級河川馬淵川用地測量業務委託	(株)東開技術
	主要地方道大船渡綾里三陸線中曾根地区用地測量調査業務委託	東北エンジニアリング(株)
調査	二戸管内洪水痕跡調査業務委託	(株)タックエンジニアリング

表彰状授与(優良建設関連業務表彰)



記念撮影(優良建設関連業務表彰)



令和5年度 岩手県まちづくりセミナー 「～色彩の観点からの景観まちづくり～」を開催しました

都市計画課

令和5年12月15日（金）、マリオスにおいて、岩手県県土整備部都市計画課と岩手県都市計画協会の共催で令和5年度岩手県まちづくりセミナーを開催しました。

本セミナーは、都市計画業務に携わる市町村職員及び県職員を対象とし、岩手県立大学の学生や大学教員も交えた、フィールドワーク方式で開催しました。

今回は「色彩の観点からの景観まちづくり」をテーマとし、株式会社カラープランニングセンター代表取締役及び武蔵野美術大学非常勤講師の田邊学（たなべ まなぶ）氏を講師としてお招きし、講義とフィールドワークの指導を賜りました。

◆ 田邊学氏プロフィール

1991：武蔵野美術大学造形学部卒業

1991：株式会社環境デザイン研究所 入所
（1995年8月退社）

1994：東京工業大学受託研究員
（1995年3月任期満了）

1995：株式会社カラープランニングセンター入社

2002：同取締役

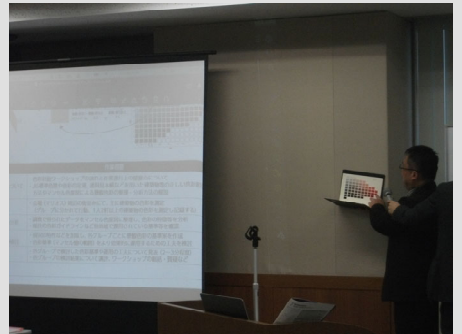
2006：武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科
非常勤講師 現在に至る

2011：株式会社カラープランニングセンター代表取締役 現在に至る

※ その他、自治体の都市計画・景観審議会委員など経歴多数



セミナーでは、はじめに、座学で、色の性質やマンセル表色系などの色彩の基本的事項、どうすれば心地のよい色彩景観を実現できるのか等のポイント、自治体の色彩基準の実例など、景観まちづくりの実践方法を解説いただきました。



座学の様子

次に、フィールドワークで、色彩測定の方法についての手法を解説いただき、市町村及び県の職員、学生、教員が混ざりあったグループに分かれ、グループごとに適宜アドバイスをいただきながら、実際に会場であるマリオス周辺の街並みの色彩の測定を実施しました。



色彩測定のアドバイスを受けている状況



色彩測定の状況

その後、グループごとに測定・収集したデータを、講師からのアドバイスや、既存の色彩ガイドライン等を参考にしながら分析し、それぞれの色彩基準案を作成しました。どのグループにおいても県、市町村、学生、教員による立場を問わない非常に活発な議論がなされました。



グループごとにデータの分析と色彩基準案の議論を行う様子

最後に、作成した色彩基準案をグループごとに発表し、それぞれのグループの特徴や更に専門的な観点について講師から講評をいただきました。前半の座学で基礎となる知識を学んだ上で、測定・分析の手法の作業を行ったことで、どのグループも理解が深まり、円滑な発表となりました。



グループごとの発表と講評の様子

今回のセミナーはフィールドワーク方式の講義や、学生や教員との共同での作業など、手探りで実施する部分も多くありましたが、セミナー後には、受講者の皆様からは、多くの好評の声をいただくことができました。

県としては、今回のセミナーを通じて得た実践的な知識等を活かしながら、本県の景観まちづくり行政を推進していきます。

また、岩手県都市計画協会は、都市計画及び都市計画事業の向上推進を図るため、今回の企画の成果や受講された方からの声を参考にしながら、引き続き、会員である市町村に対する魅力的な研修事業の企画に取り組んでいきます。

『特集ページ』

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等を紹介します！

令和5年度の県土づくりNEWSでは、岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等」を9回に分けて御紹介します。

実施状況・事例等		岩手県 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策	
		概要 p.3 岩手県の取組 p.3 予算の配分 p.4	
p.5	1 効果事例	河川 p.7	砂防 p.15 道路 p.20 港湾 p.31
p.33	2 現在実施中	河川 p.34	砂防 p.37 道路 p.39
p.45	3 今後実施予定	河川 p.47	砂防 p.52 道路 p.55 港湾 p.66
p.68	4 現場の取組		

■特集ページのスケジュール

掲載予定	対策の状況	分野	内容等
R5.7月号	効果事例	河川、砂防	堤防等の整備、河川の堆積土砂撤去、砂防堰堤の整備、急傾斜地の崩壊対策
R5.8月号		道路、港湾	道路の斜面对策、舗装の補修、橋りょうの老朽化対策、岸壁の老朽化対策
R5.9月号	現在実施中	河川	堤防等の整備、内水対策、洪水浸水想定区域図の公表
R5.10月号		砂防	砂防堰堤の整備、土砂災害が発生するおそれのある箇所への対応
R5.11月号		道路	道路の斜面对策、橋りょうの老朽化対策、道路の整備
R5.12月号	今後実施予定	河川、砂防	河川整備における今後の取組の背景、河川の堆積土砂撤去、ダム設備の補修、砂防堰堤の整備・老朽化対策
R6.1月号		道路	道路整備における今後の取組の背景、道路の整備、無電柱化の推進、橋りょう等の老朽化対策
R6.2月号		港湾	臨港道路・物揚場の補修
R6.3月号	現場の取組	全般	建設DX、工事現場見学会・出前講座の開催

■今月（令和6年1月号）の特集

今月は5か年加速化対策の「**今後実施予定（道路）**」を御紹介します！

『特集ページ』 ～今後実施（道路）～

防災・減災、国土強靱化のための
5か年加速化対策

今後実施予定

岩手県
Iwate Prefecture

59

道路 道路の整備【今後の取組の背景】

現状と課題

- 岩手県は、全国第2位の広大な県土と、南北に連なる急峻な山脈や山地を有しています。
- 東日本大震災津波後、復興事業等により高規格道路等の整備は進んできたものの、地勢の影響により都市間距離が長く、道路密度も東北地方の中で最も低いことなどが、地域間交流の妨げの要因のひとつとなっています。
- 県内の道路ネットワークは、縦軸、横軸を構成する高規格道路が基軸となりますが、広大な県土を有する岩手県では、これらの道路を補完し、または代替する道路が一体となって機能することが重要です。

【岩手県の地勢】

地理院地図を加工して作成
(電子国土Web)

【都道府県別面積 上位10位】

都道府県	面積 (千km ²)
北海道	83.4
岩手県	15.3
福島県	13.8
長野県	13.6
新潟県	12.6
秋田県	11.6
岐阜県	10.6
青森県	9.6
山形県	9.3
鹿児島県	9.2

【平均都市間距離 東北県別】

県	平均距離 (km)
宮城県	22.8
山形県	26.8
秋田県	29.9
青森県	31.1
福島県	32.6
岩手県	33.0

【道路密度 東北県別】

県	密度 (km/km ²)
福島県	0.45
宮城県	0.44
青森県	0.41
山形県	0.39
秋田県	0.32
岩手県	0.32

※ 国道路のみ

総務省統計局（令和5年2月）
国土交通省（道路統計年報2022）

防災・減災、国土強靱化のための
5か年加速化対策

今後実施予定

岩手県
Iwate Prefecture

60

道路 道路の整備【今後の取組の背景】

現状と課題

- 岩手県は、度重なる台風災害等に見舞われており、河川の決壊等により、緊急輸送道路等が各地で寸断され、救援活動や物資輸送に大きな支障をきたしました。
- 緊急輸送道路は、災害発生時の迅速な避難や救急活動、緊急物資の輸送等を行うために重要な路線であることから、多重性・代替性の確保を図ることが重要です。

【岩手県緊急輸送道路網図】

凡例	
緊急輸送道路	第1次路線
緊急輸送道路	第2次路線
その他の一般国道	（供用区間）
その他の一般国道	（事業中区間）
その他の主要地方道	（供用区間）
その他の主要地方道	（事業中区間）

【平成28年 台風第10号 被災状況】

宮古市 墓目 (国道106号)

久慈市 案内～戸呂町口 (国道281号)

『特集ページ』 ～今後実施（道路）～

防災・減災、国土強靱化のための
5か年加速化対策

今後実施予定

61

道路 道路の整備【今後の取組】

【緊急輸送道路の整備延長】

いわて県民計画(2019～2028)政策推進プラン
 いわて幸福関連指標

対策前

【台風により冠水】

岩泉町 新町
(国道455号)

～R4整備済
36.6km

～R8
目標
42.3km

引き続き整備

➔

令和8年度
までに**42.3km**
(計画目標値)

対策の内容

高規格道路を補完する道路等、緊急輸送道路の整備を進め、災害に強い道路ネットワークを構築していきます。

防災・減災、国土強靱化のための
5か年加速化対策

今後実施予定

62

道路 道路の整備

はちまんたいし さひない

➤ **八幡平市 佐比内地区**
(一般国道282号)

対策前

【雪崩による通行止め状況】

おおふなとし しらいしとうげ

➤ **大船渡市 白石峠地区**
(一般国道107号)

対策前


【幅員の狭い現道トンネル内】

対策の内容

緊急輸送道路等の通行危険箇所や、急カーブ、急こう配箇所などのあい路を解消していきます。

17

『特集ページ』 ～今後実施（道路）～

防災・減災、国土強靱化のための
5か年加速化対策 **今後実施予定**  岩手県 Iwate Prefecture **64**

道路 橋りょうの老朽化対策【今後の取組】

【早期に修繕が必要な橋りょうの対策完了数】

いわて県民計画(2019～2028)政策推進プラン 具体的推進方策指標

令和3年度末時点で
対策が必要な橋りょう数

建設後50年以上経過した
橋りょうを中心に今後増加

**～R4完了
95橋**

岩泉町 曲平橋 (国道340号)
【コンクリート剥離・鉄筋露出】

**～R8 目標
260橋**

**引き続き
対策**

一関市 狐禅寺橋
(一関大東線)
【支承の補修】

令和8年度までに
260橋
(計画目標値)

対策の内容 早期に修繕が必要な橋りょう等の老朽化対策の加速化を図り、
予防保全型の維持管理への転換を目指します。

防災・減災、国土強靱化のための
5か年加速化対策 **今後実施予定**  岩手県 Iwate Prefecture **66**

道路 橋りょうの老朽化対策 (その1)

とおのし はやしざきばし **遠野市 林崎橋** (一般国道340号)

りくぜんたかたし おかむかいばし **陸前高田市 丘向橋**
(一般国道343号)

対策前

【支承の損傷】

橋桁
橋脚

【防護柵の欠損】

対策の内容 損傷のある部材を補修して、橋りょうの延命化を図ります。

『特集ページ』 ～今後実施（道路）～



防災・減災、国土強靱化のための
5か年加速化対策

今後実施予定



岩手県
Iwate Prefecture

68

道路 橋りょうの老朽化対策（その3）

いちのへまち おくとおり ごうはし
➤ 一戸町 奥通2号橋
(主要地方道一戸葛巻線)

対策前



※ 橋の下側
から撮影

【鉄筋の露出・
コンクリートの剥離】

いちのせきし おてまわりばし
➤ 一関市 御手廻橋 (一般国道342号)

対策前

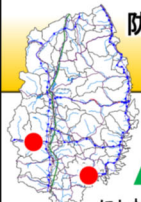


※ 橋の下側
から撮影

【鉄筋の露出】

対策の
内容

損傷のある部材を補修して、橋りょうの延命化を図ります。



防災・減災、国土強靱化のための
5か年加速化対策

今後実施予定



岩手県
Iwate Prefecture

69

道路 トンネルの老朽化対策

にしわがまち すぎなはた
➤ 西和賀町 杉名畑第2トンネル
(一般国道107号)

対策前



(ひび)
【クラックの発生】

りくぜんたかし くるもり
➤ 陸前高田市 黒森トンネル
(一般国道343号)

対策前



【漏水の発生】

対策の
内容

トンネルの老朽化対策を実施していきます。
・ ひび の入っている覆工コンクリート进行处理
・ 漏水の処理